

アジア経済戦略構想の概要

～ 日本とアジアを結ぶ国際ビジネス都市へ ～



2016年3月



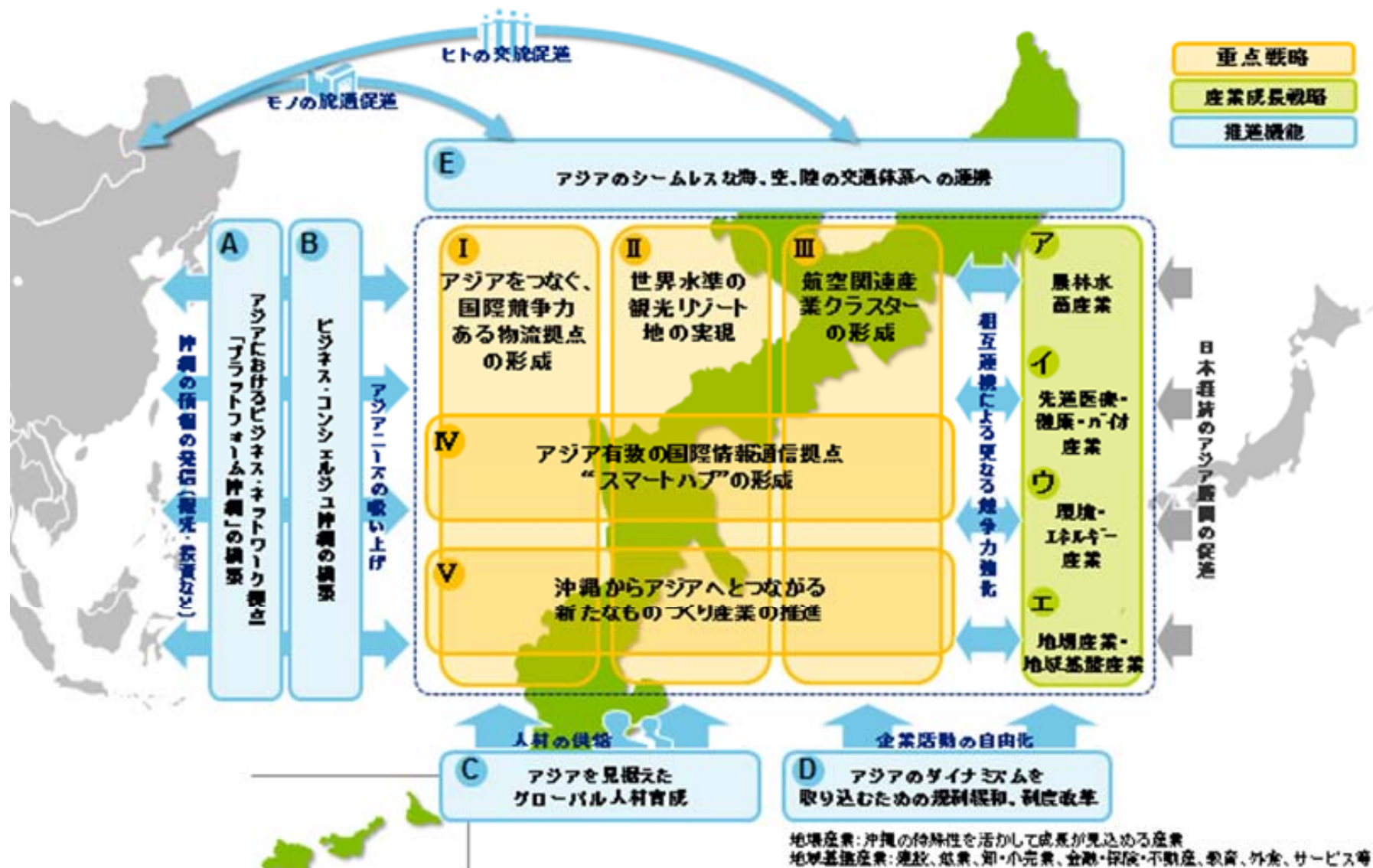
沖縄県の地理的優位性

～ 20億人以上の巨大市場が4、5時間圏内に～



沖縄県アジア経済戦略構想のイメージ

沖縄県の強みを活かした5つの重点戦略と、特性を活かした4つの産業成長戦略を実施する
これらの戦略を支える推進機能により、高度化・多様化するアジアニーズの取り込み、アジアと日本を結ぶ戦略的拠点となる



重点戦略① アジアをつなぐ、国際競争力ある物流拠点の形成

■ 沖縄県の国際物流拠点形成の取り組み

第1ステージ

- ANA国際貨物ハブ開始【平成21年10月】
- 国際物流特区（国際物流拠点産業集積地域）の創設【平成24年4月】
- ロジスティクスセンター等の企業受入インフラの整備
- 沖縄県産品の輸出拡大



第2ステージ

- 航空路線・海運航路の拡充
ANA国際貨物ハブの航空ネットワークは、開始時の8路線から12路線に拡充し、海運航路もアジア向けの航路が新設されました。
- 国際物流特区の拡大
一部地域に限定されていた国際物流特区を、那覇・浦添・豊見城・宜野湾・糸満市の全域、中城湾新港地区に拡大しました。
- 全国特産品流通拠点化推進
沖縄を経由することで、日本全国の特産品を新鮮なままアジアへ最短翌日配送することが可能になりました。
- フォワーダーの物流拠点
那覇空港の隣接地等に、国際貨物事業の拠点となるロジスティクスセンターを整備しています。
- Eコマース・通販ストックセンター
Eコマース・通販の在庫拠点を沖縄に設置することで、国内外からの顧客の注文に迅速に対応できます。
- 緊急パーツセンター
深夜貨物便の活用と24時間通関体制により、アジア向け緊急パーツセンターの運用が可能です。



第3ステージ

- 流通・保管・展示・3PL等の拠点形成
- 世界的メーカーの物流拠点
- 那覇空港第2滑走路増設
- 航空・海運企業の進出によるネットワークの拡充



■ 有機的に連携する物流拠点を構築



国際ロジスティクスセンター4号棟



国際ロジスティクスセンター3号棟

■ ヤマト運輸によるパーツセンターモデル

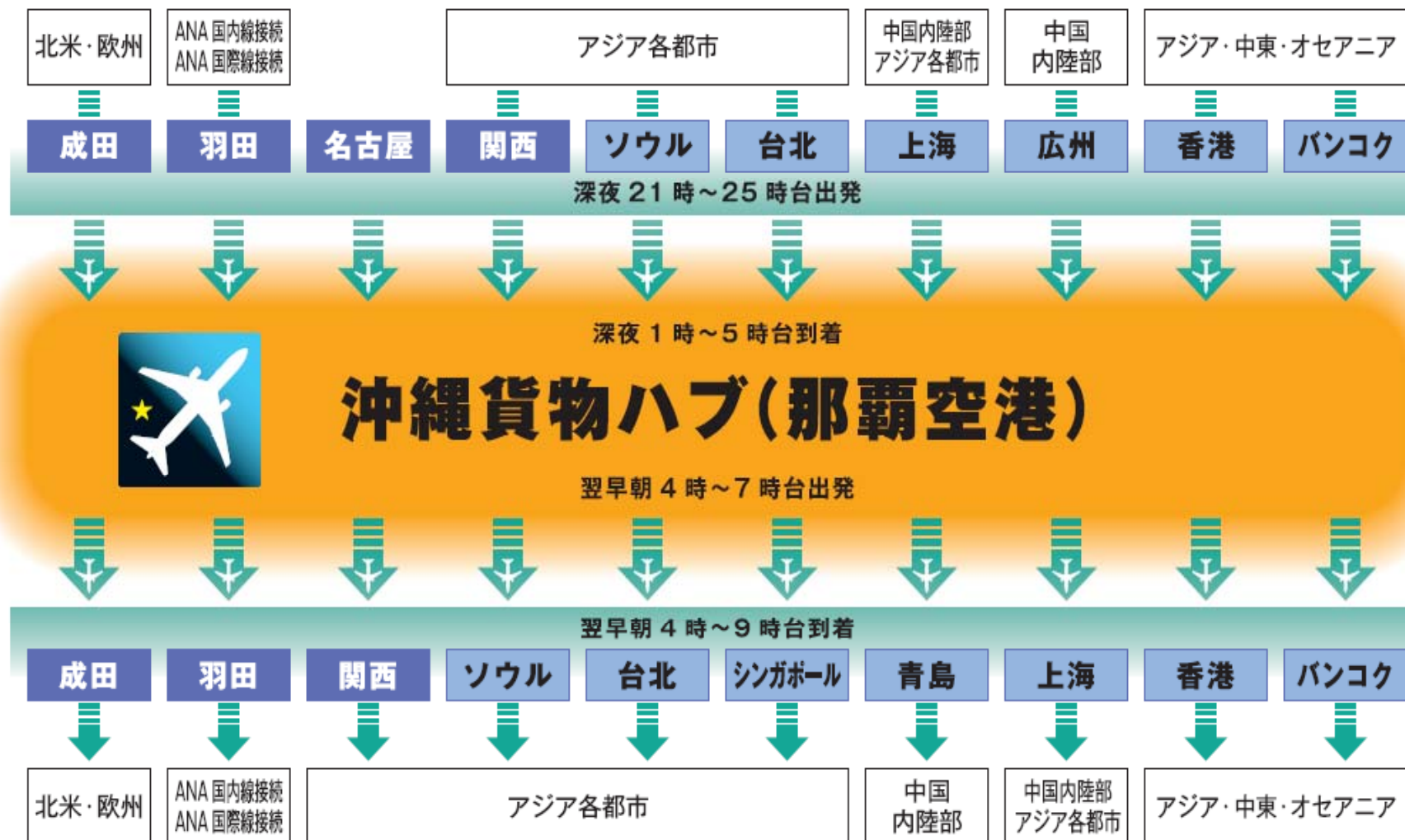


重点戦略① アジアをつなぐ、国際競争力ある物流拠点の形成

深夜発⇒翌早朝着を可能にする運航ダイヤ

日本を含むアジア主要都市を深夜出発。
「沖縄貨物ハブ」を経由し、翌早朝には各目的地に到着。

那覇空港を基点に、貨物専用機(B767-300F)をアジア主要都市へ深夜運航



重点戦略① アジアをつなぐ、国際競争力ある物流拠点の形成



24時間体制で稼働 → リードタイムを大幅に短縮



深夜発 → 早到着を可能にする運行ダイヤ



国際間の保冷輸送 → 生鮮品の鮮度保持



ドアtoドアの小口配送も可能

重点戦略① アジアをつなぐ、国際競争力ある物流拠点の形成

地の利をさらに活用するには・・・

- 沖縄に製造拠点又はOEM発注
→賞味期限がより有利に
→沖縄県産品とのコラボ商品開発

- 沖縄にアジア向け配送拠点に
→リパッケージ、セット商品化など



バンコク

8



東南アジア

香港

台湾

沖縄

ソウル

上海

牛肉(宮崎)



さくらんぼ(山形)



毛がに(北海道)



越前がに(福井)



りんご(青森)



チーズケーキ(北海道)



みかん(愛媛)



生鮮物をDOOR to DOOR で集荷・配送
保冷状態で翌朝には各国へ！

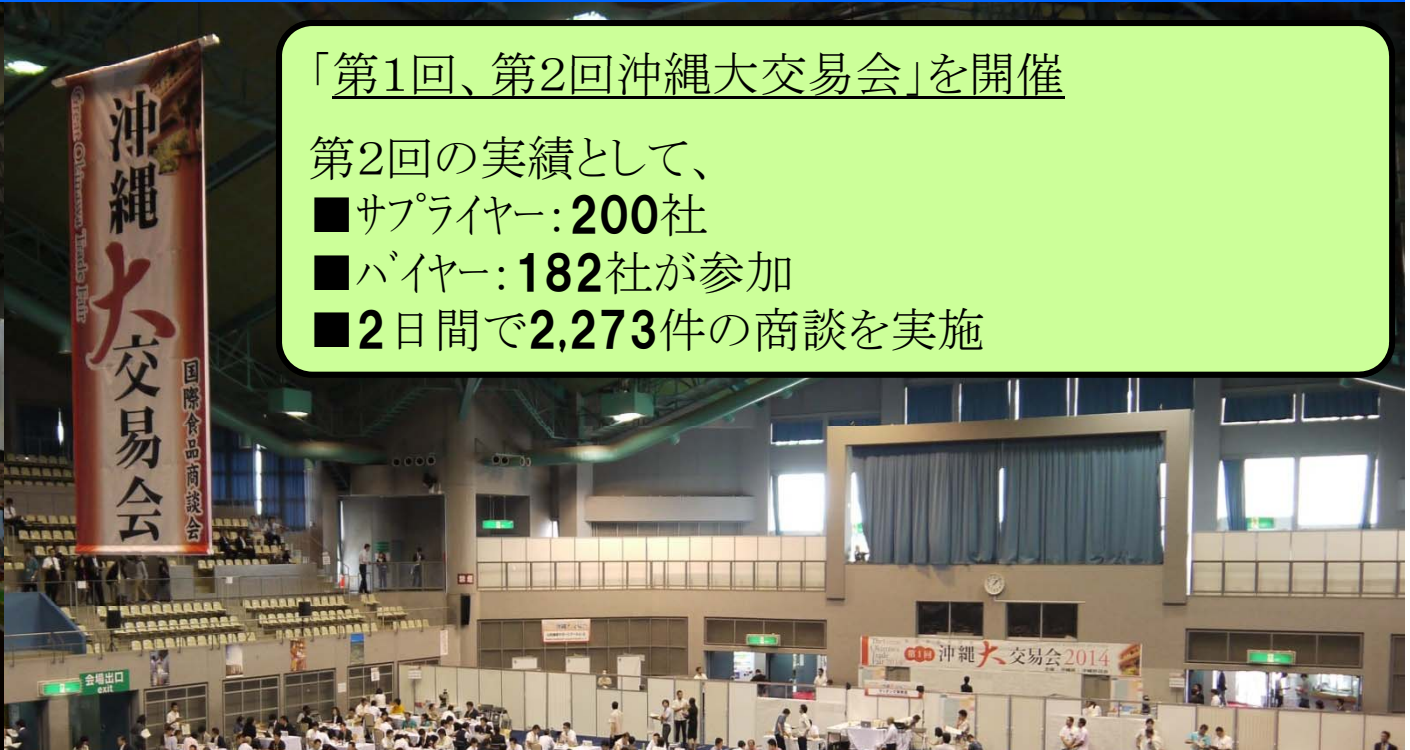
Eコマースを活用し、直接生産者から
消費者へ！

YAHOO! 超市
雅虎香港

指 FINGER
點 SHOPPING

全国の特産品を
“付加価値の高い、新鮮な状態”
でアジア市場へ 7

重点戦略① アジアをつなぐ、国際競争力ある物流拠点の形成



「第1回、第2回沖縄大交易会」を開催

第2回の実績として、

■サプライヤー：**200**社

■バイヤー：**182**社が参加

■2日間で**2,273**件の商談を実施



日本とアジアを繋ぐ国際ビジネス拠点へ



ご静聴ありがとうございました